

3 IL-31とIL-33, どちらが要か：かゆみ

Which is necessary for the pathogenesis of atopic dermatitis, IL-31 or IL-33? : Itching

本田哲也

HONDA, Tetsuya

浜松医科大学皮膚科学講座教授

Summary

アトピー性皮膚炎(AD)のかゆみの本態は長らく不明であった。しかし近年、かゆみのメディエーターとしてサイトカインが、なかでもIL-4, IL-13, IL-31, IL-33などのType 2サイトカインがきわめて重要な役割を果たしていることが、動物実験、臨床データから徐々に明らかとなってきた。IL-31やIL-33のシグナルをブロックする生物学的製剤は、ADに対し現在治験中である。それらの治験データを通し、IL-31, IL-33のADにおけるかゆみメディエーターとしての意義・関与程度の解明が期待される。

Type 2炎症

IL-4, IL-13など、Type 2サイトカインと呼ばれるサイトカインを主体にして惹起される炎症。アトピー性皮膚炎は皮膚のType 2炎症と考えられている。

EASI

Eczema Area and Severity Indexの略。アトピー性皮膚炎の病勢評価の指標のひとつ。部位別に皮疹の程度、面積にそれぞれの係数をかけて、合計点を算出する。ベースラインから50%改善、75%改善することをそれぞれEASI50, EASI75と呼ぶ。

KEY WORDS

IL-31 / IL-33 / 抗IL-31RAヒト化モノクローナル抗体 / タイプ2炎症 / EASI